

## 農作物の生育概況等について

### 1 気象経過

1月下旬から4月上旬の気温は平年よりも高く推移した。4月中旬以降は平年並みの気温で経過したが、4月10、11、15、27日に県内各地で降霜が確認された。5月初旬の平均気温は平年よりやや低く経過しており、5月3日に最上地域で降雹・降霰が確認されている。



りんごの中心花の褐変



かきの芽枯れ状況  
(酒田市、4月19日)



にらの葉の損傷  
(最上町、5月6日)

### 2 主な農作物の生育状況

#### (1) 水 稲

- ・ 耕起作業は、始期4月21日（平年比－4日）、盛期4月30日（平年比－1日）となり、4月下旬の降雨日が少なかったことから、作業が進んだ。
- ・ 田植え作業は、庄内地域で平年並の5月8日から始まり、内陸地域では、5月15日頃から始まる見込みである。

#### (2) 果 樹

- ・ 露地さくらんぼの「佐藤錦」の生育は平年より4～7日程度早く、村山地域・置賜地域における「佐藤錦」の満開期は、4月23日～26日頃となった。
- ・ りんご「ふじ」の満開期は平年より2～3日程度早く、村山地域・置賜地域で5月2日～5日頃となった。
- ・ 4月10日、11日、15日、27日に降霜があり、さくらんぼの「佐藤錦」では20～60%程度、「紅秀峰」では40～80%程度、りんご「ふじ」の中心花では70%程度の雌しべの枯死被害がみられている。また、庄内地域の一部では柿、置賜の一部ではぶどうで芽の枯死が発生した。
- ・ ハウスさくらんぼは、現在の品質は概ね良好で、価格は前年より高くなっている。

#### (3) 野 菜

- ・ きゅうり半促成栽培の収穫は、5月上旬から盛期になっており、品質も良好である。
- ・ 露地すいかの定植盛期は、平年並みの4月20日頃から5月10日頃、露地メロンは平年並みの4月20日頃から4月30日頃が盛期で、いずれも定植後の生育は良好となっている。
- ・ 最上、置賜地域のアスパラガスは、4月下旬からの低温、5月3日の降雹の影響によ

り、出荷量は平年よりやや少なく経過しているが、5月中旬以降、出荷が本格化する見込みである。また、最上地域のには、5月3日の降雪により一部で被害が見られている。

#### (4) 花 き

- ・ 周年栽培のばらやアルストロメリアは、継続出荷され、品質は良好である。
- ・ ビブルナム「スノーボール」は、露地作型が5月上旬から出荷盛期となり、品質は良好である。
- ・ 母の日に向けたポットカーネーションが、例年どおり4月下旬～5月上旬に出荷盛期となり、品質は良好である。

### 3 農作業安全、新型コロナウイルス感染症対策

〈農作業安全〉農繁期を迎え、機械作業・高所作業が増えることから、農作業事故防止のための基本的な対策を再度確認し、徹底する。

〈感染症対策〉体調チェックや3密（密閉、密集、密接）防止など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。

### 4 当面の主な技術対策

〈水 稲〉適期の田植え及び適正な水管理による初期生育促進の徹底

〈果 樹〉さくらんぼ・りんご・西洋なし・もも等の摘果の徹底、さくらんぼ・ぶどうハウス栽培の生育に応じた温度管理の徹底、りんご黒星病等の防除の徹底

〈野 菜〉ハウス・露地トンネル果菜類（すいか、メロン等）のきめ細かな温度管理の徹底

〈花 き〉りんどうやトルコぎきょう等の、定植に向けた計画的な圃場準備